気象庁
Japan Meteorological Agency

いのちとくらしをまもる
防　災　減　災

報　道　発　表

令和６年８月９日21時55分
地　震　火　山　部

令和6年8月9日19時57分頃の神奈川県西部の地震について

令和6年8月9日19時57分頃に発生した神奈川県西部を震源とする地震について、地震や津波に関する概要や留意事項を別添のとおりお知らせいたします。

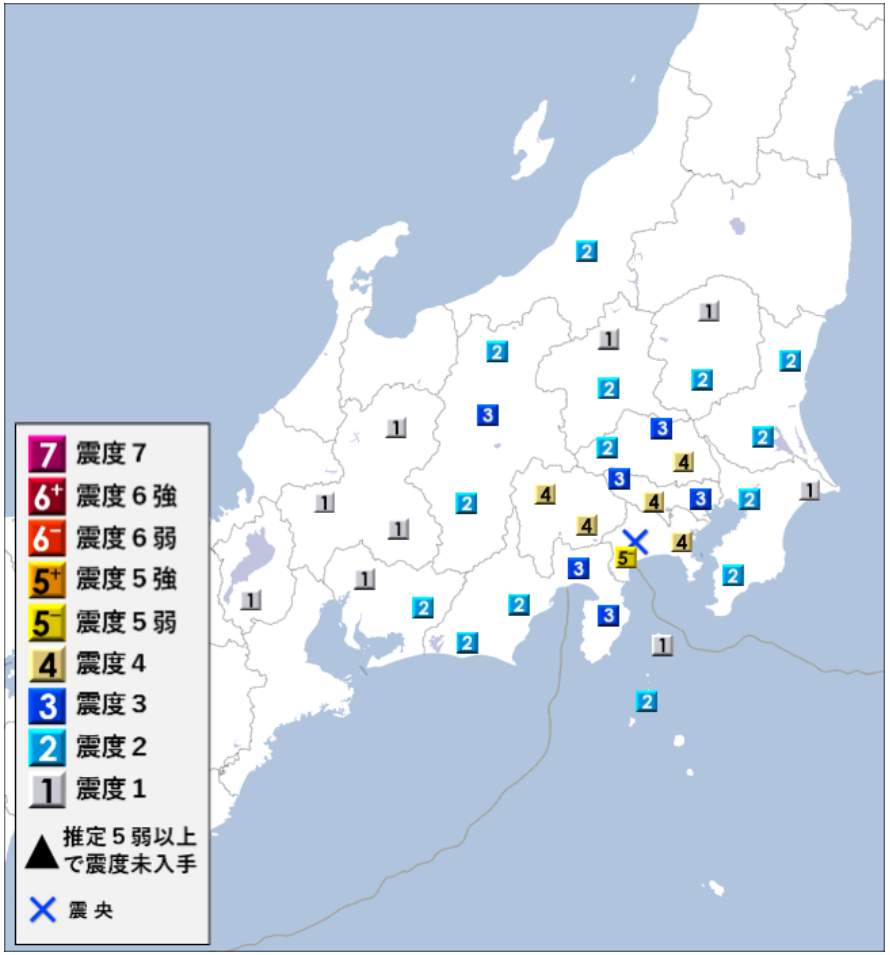
本件に関する問い合わせ先	地震火山部 地震津波監視課 電話 03-3434-9041

震度5弱を観測

震度5弱　神奈川県

（揺れの強かった地域）
落石や崖崩れなどに注意
※1週間程度（特に今後2～3日の間）
最大震度5弱程度の地震に注意

8月9日20時01分発表



地震の概要

検知時刻 （最初に地震を検知した時刻）	8月9日19時57分
発生時刻 （地震が発生した時刻）	8月9日19時57分
マグニチュード	5.3（暫定値）
発生場所	神奈川県西部 深さ13km（暫定値；速報値 深さ約 10kmから更新）
発震機構	南北方向に圧力軸を持つ逆断層型（速報）
震度	【最大震度5弱】神奈川県の厚木市（あつぎし）・中井町（なかいまち）・松田町（まつだまち）・清川村（きよかわむら）で震度5弱を観測したほか、関東地方、中部地方、近畿地方で震度4～1を観測
地震活動の状況 9日21時30分現在	今回の地震発生後、震度1以上を観測した地震が1回発生（震度1：1回）
長周期地震動の観測状況	階級1以上を観測した地域はなし

防災上の留意事項と今後の見通し

（防災上の留意事項）

この地震による津波の心配はありません。

揺れの強かった地域では、落石や崖崩れなどが起こりやすくなっている可能性がありますので、今後の地震活動に注意してください。

（今後の地震活動の見通し）

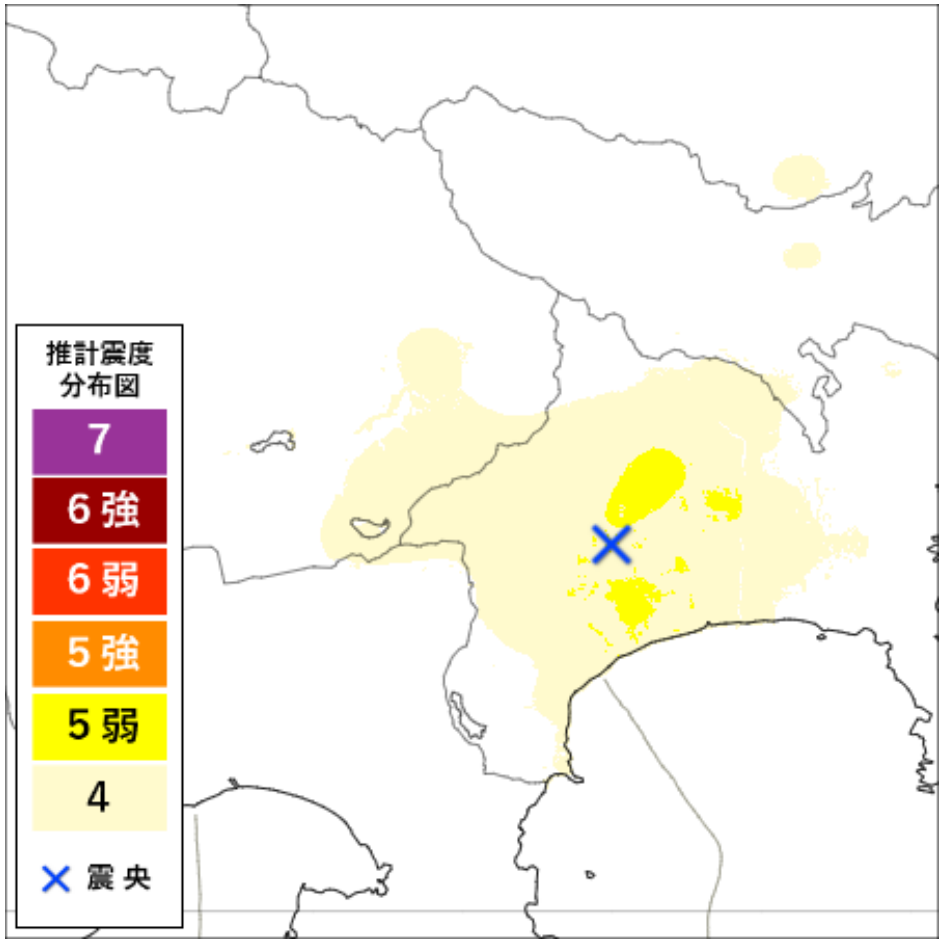
過去の事例では、大地震発生後に同程度の地震が発生した割合は1～2割あることから、揺れの強かった地域では、地震発生から1週間程度、最大震度5弱程度の地震に注意してください。特に今後2～3日程度は、規模の大きな地震が発生することが多くあります。

震度分布図・推計震度分布図

【各地域の震度】

8月9日20時01分発表

推計震度分布図



※留意事項は以下リンクからご確認ください。

最新の情報は、以下のページでご確認ください。
地震情報：https://www.jma.go.jp/bosai/map.html#contents=earthquake_map
推計震度分布図：https://www.jma.go.jp/bosai/map.html#contents=estimated_intensity_map

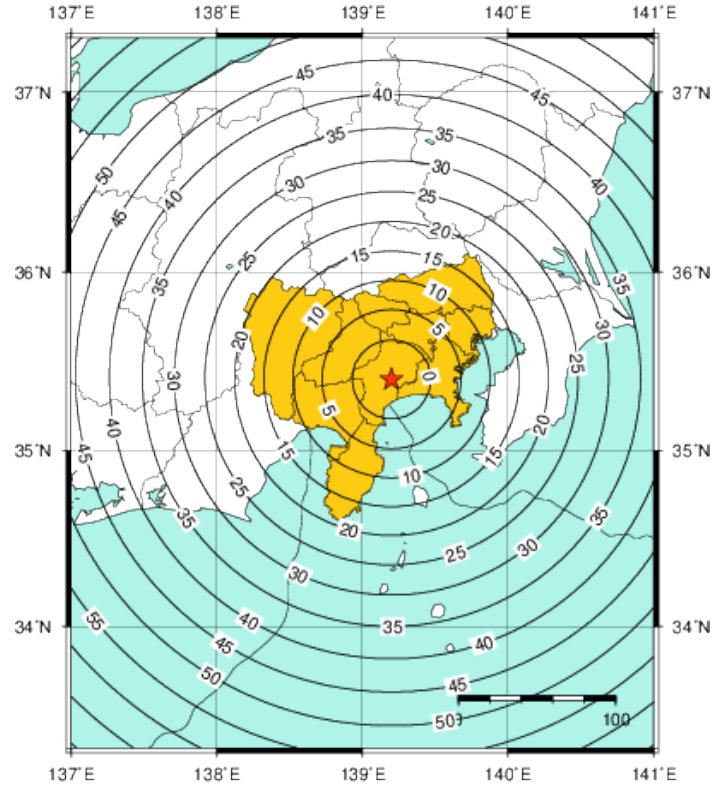
緊急地震速報の発表状況

緊急地震速報の詳細

提供時刻		経過時間(秒)	震源要素					予測した震度と階級
地震波検知時刻	19時57分40.8秒		震央地名	北緯	東経	深さ	M	
第4報	19時57分46.3秒	5.5	神奈川県西部	35.4	139.2	10km	5.6	※4

※4	震度5弱程度	神奈川県東部
	震度4から5弱程度	神奈川県西部
	震度4程度	静岡県東部、山梨県東部・富士五湖、東京都多摩東部、東京都多摩西部、静岡県伊豆、東京都23区
	震度3から4程度	埼玉県南部、山梨県中・西部

警報第1報の対象地域及び主要動到達までの時間



緊急地震速報（警報）を発表した地域　震源

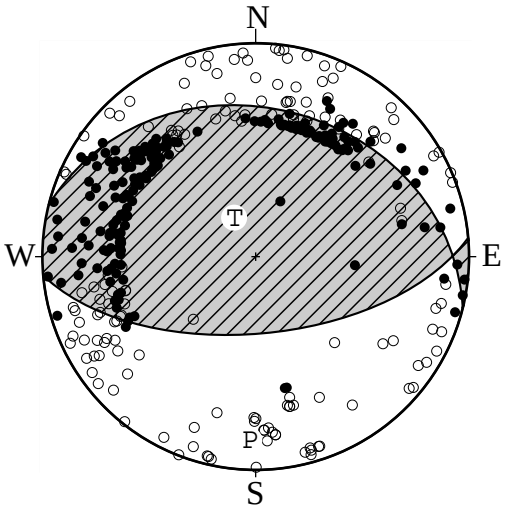
発表状況の詳細は、以下のページでご確認ください。
緊急地震速報(警報)の発表状況:https://www.data.jma.go.jp/eew/data/nc/pub_hist/index.html

発震機構解

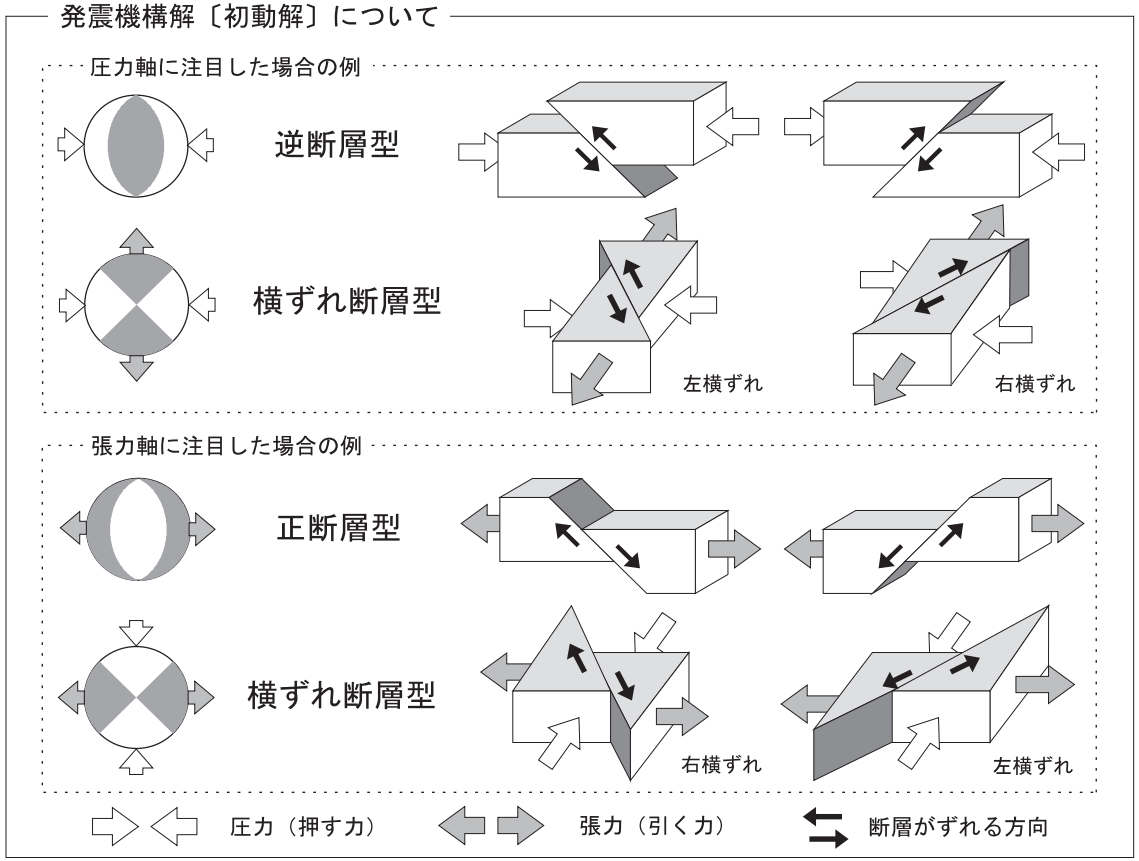
08091957

南北方向に圧力軸を持つ逆断層型

[初動解(速報)]



下半球等積投影法で描画
P：圧力軸の方向
T：張力軸の方向
※ ●は初動が上向きの観測点、
○は初動が下向きの観測点を示す。

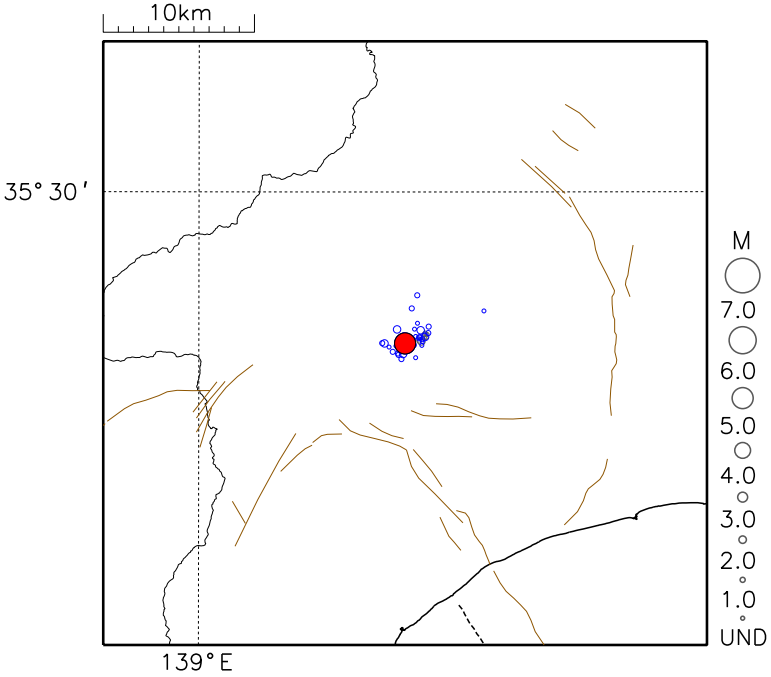


気象庁作成

今回の地震活動

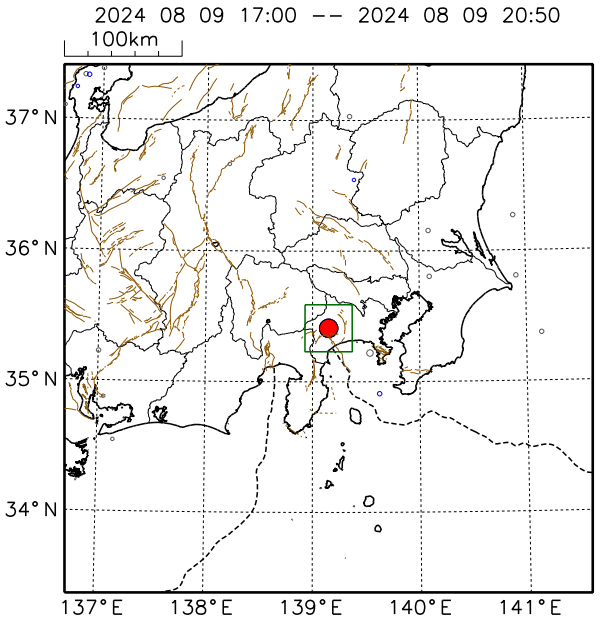
震央分布図（詳細図）

震央分布図（広域図）の四角形領域内の震央分布図
深さ0 -- 100km、　M　全て
2024 08 09 17:00 -- 2024 08 09 20:50



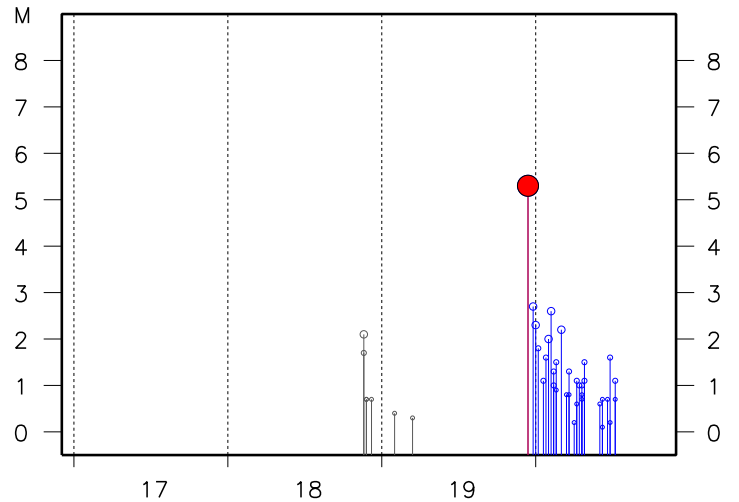
震央分布図（広域図）

深さ0 -- 100km、　M　全て
2024 08 09 17:00 -- 2024 08 09 20:50



震央分布図（詳細図）の地震活動経過図

2024 08 09 17:00 -- 2024 08 09 20:50



(震源の色について)赤色：今回の地震　青色：今回の地震より後に発生した地震　灰色：今回の地震より前に発生した地震

- 震央分布図中の茶色の細線は、地震調査研究推進本部の長期評価による活断層を示す。
- 震央分布図中の黒色の点線は、海溝軸を示す。

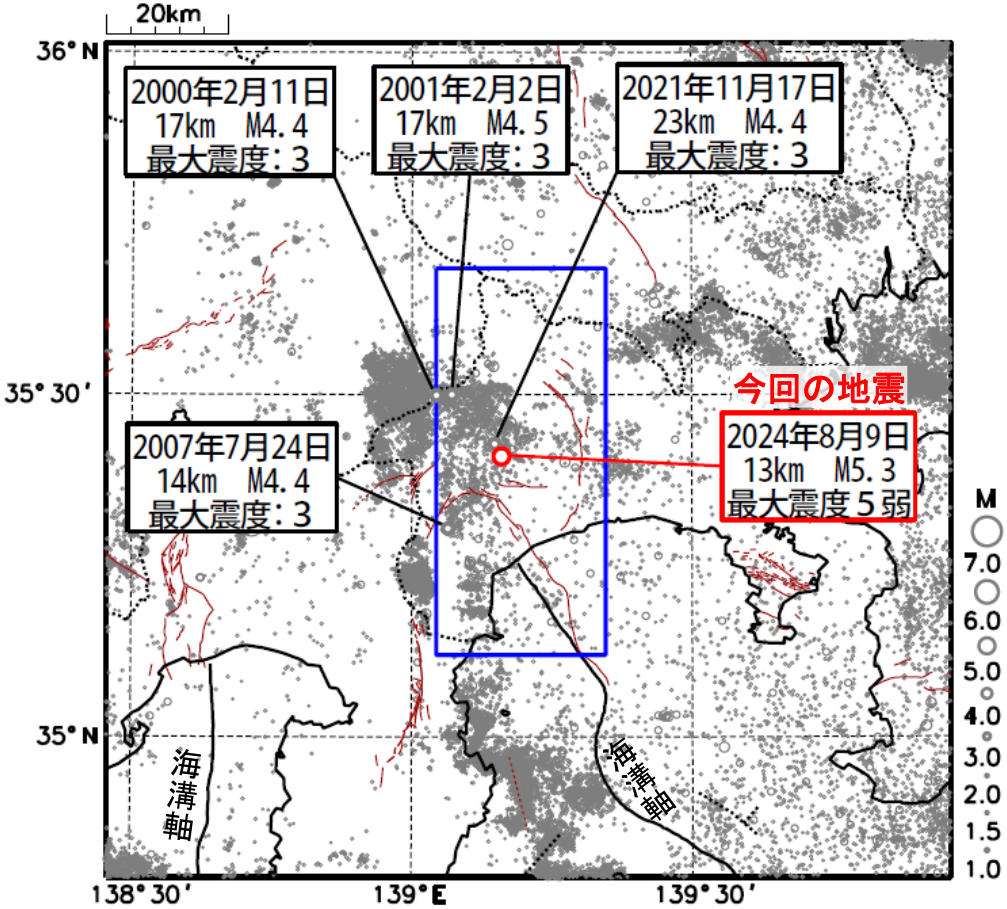
＜資料の利用上の留意点＞

- 表示している震源は、速報値を含みます。
- 速報値の震源には、発破等の地震以外のものや、誤差の大きなものが表示されることがあります。
- 個々の震源の位置や規模ではなく、震源の分布具合や活動の盛衰に着目して地震活動の把握にご利用ください。

気象庁作成

令和6年8月9日　神奈川県西部の地震
（発生場所の詳細）

震央分布図
（1997年10月1日～2024年8月9日19時58分、
深さ0～60km、M1.0以上）

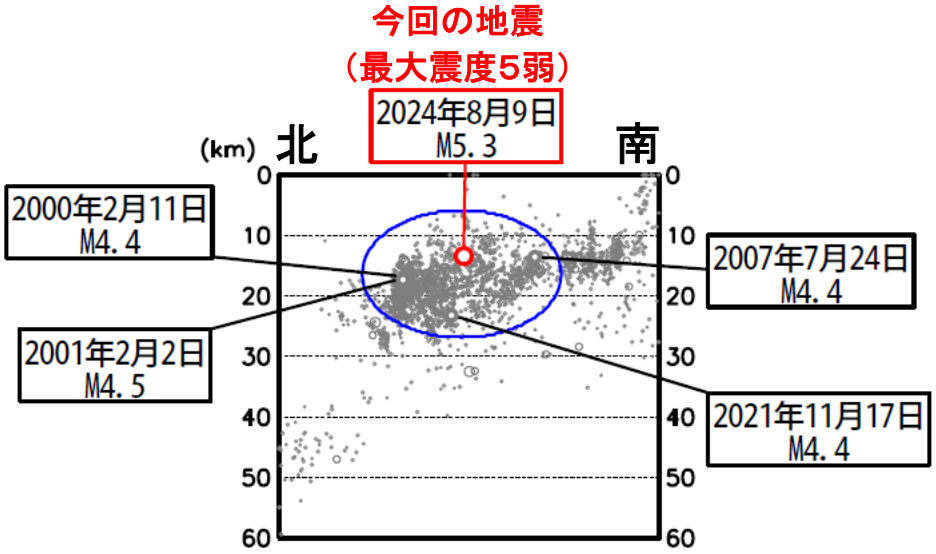


丸の大きさはマグニチュードの大きさを表す。

2024年8月9日の地震を赤色で表示

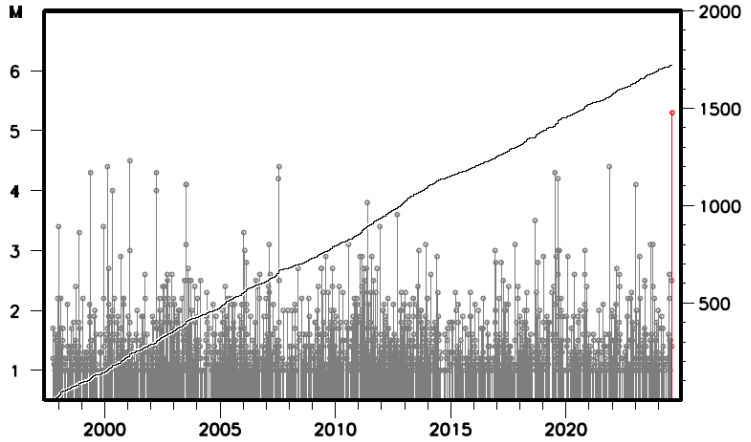
震央分布図中の茶色の線は、地震調査研究推進本部の長期評価による活断層を示す。

左図の四角形領域内の断面図（南北投影）



縦軸は深さを表し、丸の大きさはマグニチュードの大きさを表す。

上図の楕円領域内の地震活動経過
および回数積算図



横軸は時間、縦軸は左がマグニチュード、右が地震の積算回数。折れ線は地震の回数を足し上げたものであり、縦棒のついた丸は地震発生時刻とマグニチュードの大きさを表す。

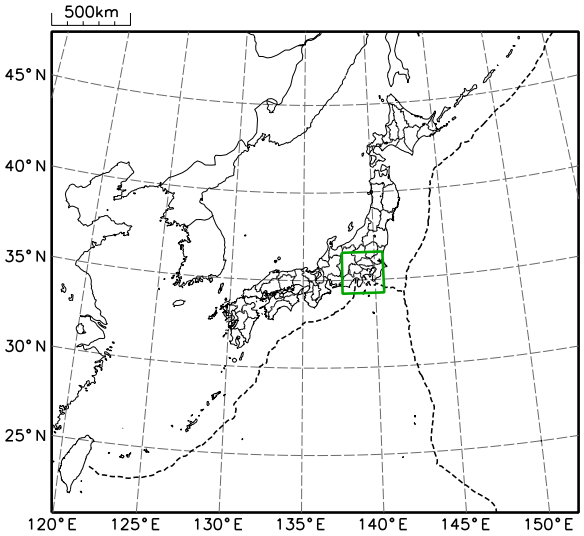
気象庁作成

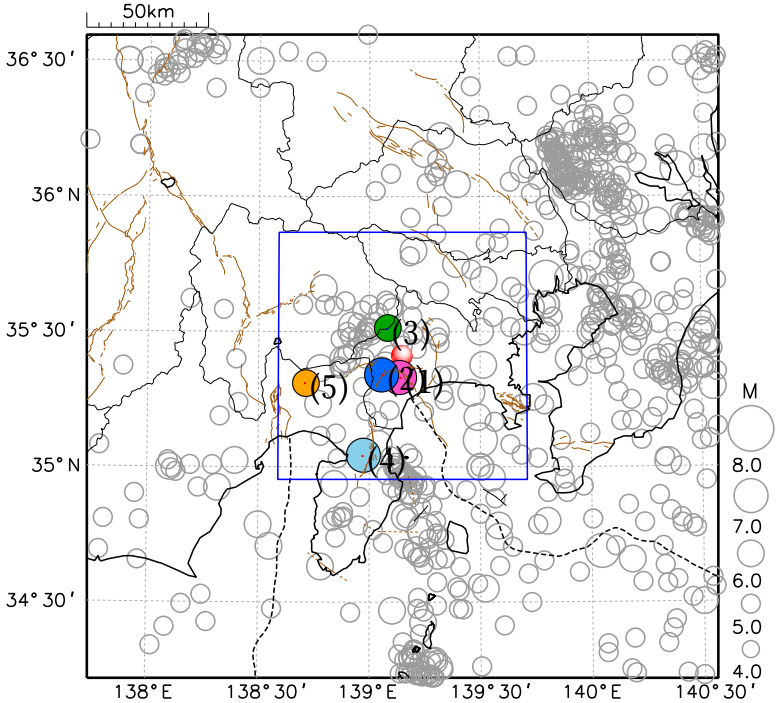
今回の地震周辺の過去の主な地震活動

震央分布図

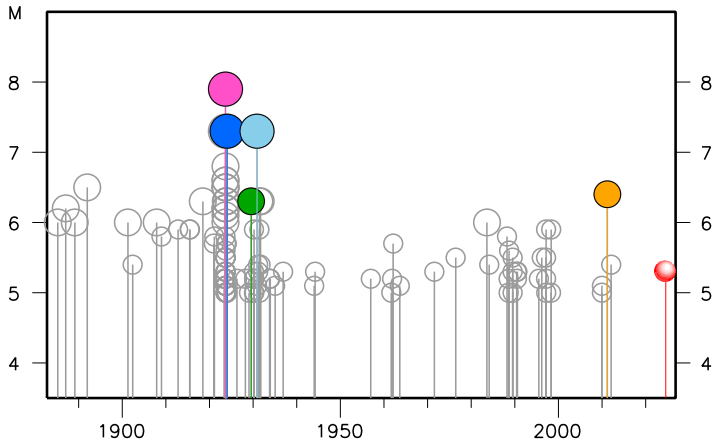
M ≧ 5.0 ， 深さ ： 0 ～ 150km
今回の地震を赤く表示

1885 01 01 00:00 -- 2024 08 09 20:02





震央分布図の青色矩形内のM-T図



過去の主な地震

主な地震のシンボルの色と番号の対応
桃：(1)，青：(2)，緑：(3)，水：(4)，黄：(5)

(1) 1923年9月1日 M:7.9 神奈川県西部 関東地震

(2) 1924年1月15日 M:7.3 神奈川県西部 丹沢地震

(3) 1929年7月27日 M:6.3 神奈川県西部

(4) 1930年11月26日 M:7.3 静岡県伊豆地方 北伊豆地震

(5) 2011年3月15日 M:6.4 静岡県東部

・震央分布図中の茶色の細線は、地震調査研究推進本部の長期評価による活断層を示す。
・震央分布図中の黒色の太破線は、海溝軸を示す。
・1885年から1918年の地震の震源要素は、宇津（1982,1985）及び茅野・宇津（2001）による。

＜地震の名称について＞

・気象庁が定めた地震の名称を「」で示す。
・上記以外で、被害を伴い、広く社会的に地震の名称として知られているものについて、名称（「」を付加しない）を併記している。
名称は、「日本の地震活動（第2版）」（地震調査研究推進本部）による。
・地震の名称の後ろの[]は、この規模の順に近接して発生した主な地震が他にあることを示す。
名称は、最大規模の地震にのみ付加しており、[]内に記載した他の地震が異なる番号で記載される場合がある。

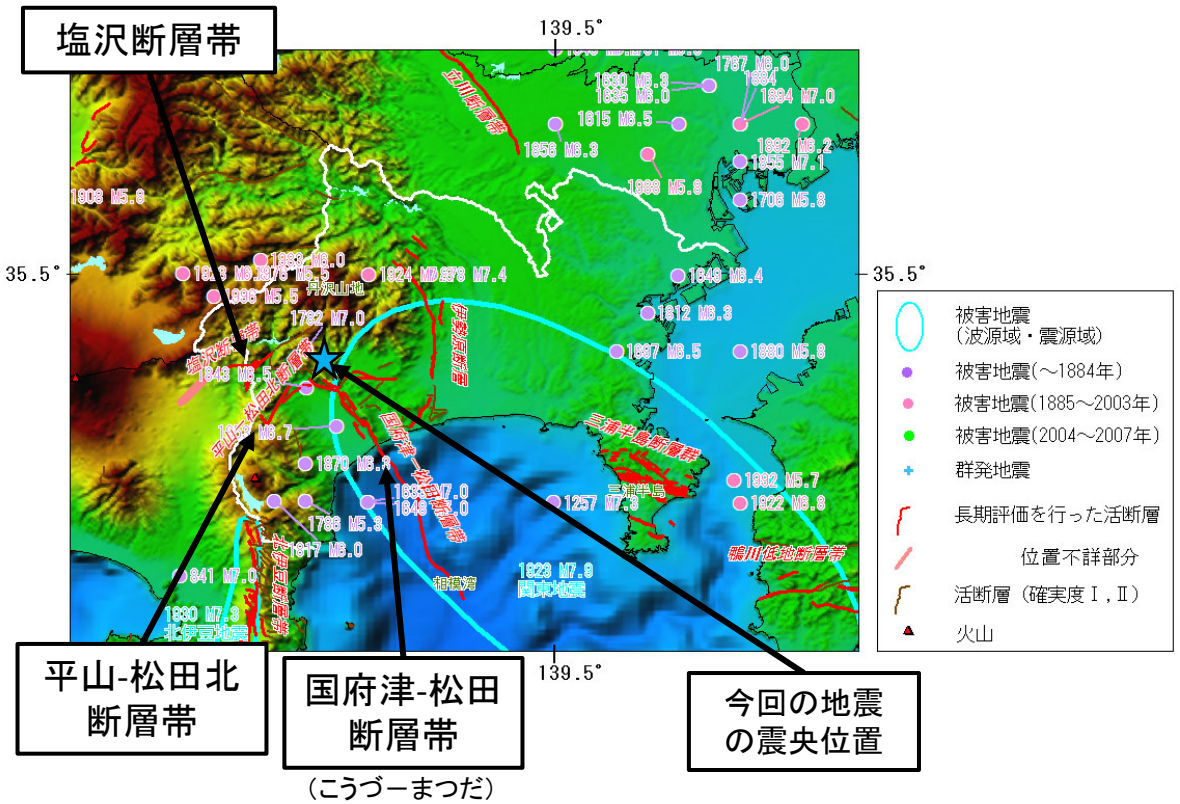
＜資料の利用上の注意点＞

・今回の地震は、速報値を表示しており、精査後に修正する場合がある。
・過去の地震活動は、M5.0以上の地震、今回の地震は、M4.0以上の地震を表示している。
・過去の地震活動は、地域、時期に依らず、全てM5.0以上の地震を表示している。地域や時期により検知能力（※）が異なる場合がある。
※検知能力：特定の地域、時期において、あるM（規模）以上の地震は、概ね全て検知できていると考えられるとする。
この場合、そのMが小さいほど検知能力が高いと言う。
一般的に、同時期であれば、海域より陸域の方が検知能力は高く、同一地域であれば、時期が新しいほど検知能力は高い。

気象庁作成

震源周辺の活断層について

（参考資料）



●周辺の活断層

○今回の地震の震源周辺には、塩沢断層帯・平山－松田北断層帯・国府津－松田断層帯（神縄・国府津－松田断層帯）が存在します。

●過去の例

○過去には、2005年の福岡県北西沖の地震（M7.0）のように、大きな地震の後、近くの活断層（警固断層帯南東部）は活動せず当初の地震活動域が広がらなかった例もあれば、1930年の北伊豆地震（M7.3）のように、近くの活断層（北伊豆断層帯）が活動し、当初の活動域が広がった例もあります。

○「平成28年（2016年）熊本地震」では、M6.5の地震が発生した2日後に、隣接する別の活断層でより規模の大きな地震が発生しました。

●留意事項

○過去の例のように、今回の地震の周辺に存在する活断層等で大きな地震が発生する可能性は否定できないため、留意が必要です。

○今回の地震の周辺に存在する活断層で大きな地震が発生した場合には、周辺で震度6強以上の強い揺れになると予想されています。

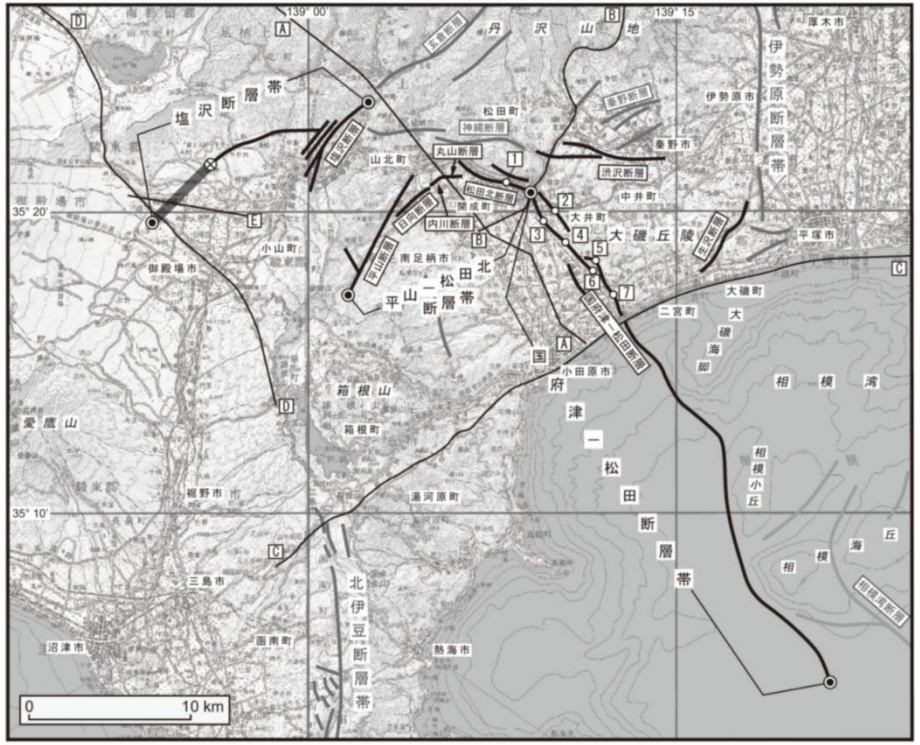
気象庁作成

震源周辺の活断層について

（参考資料）

塩沢断層帯・平山－松田北断層帯・国府津－松田断層帯
（神縄・国府津－松田断層帯）

●活断層の詳細な位置

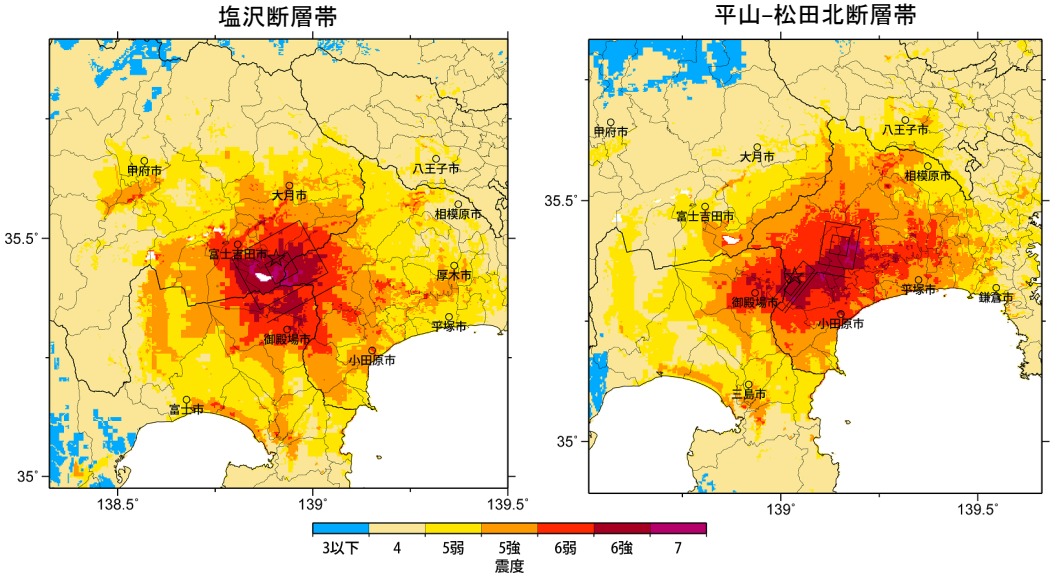


●想定される規模と今後30年以内の地震発生確率

断層帯（活動区間）	想定される規模	ランク
塩沢断層帯	6.8程度	Sランク
平山-松田北断層帯	6.8程度	A*ランク
国府津-松田断層帯	海溝型地震と同時に活動	

活断層における今後30年以内の地震発生確率が、3%以上を「Sランク」、0.1～3%を「Aランク」、0.1%未満を「Zランク」、不明（すぐに地震が起きることが否定できない）を「Xランク」と表記している。地震後経過率（最新活動時期から評価時点までの経過時間を、平均活動間隔で割った値）が0.7以上である活断層については、ランクに「＊」を付記している。

●今回の地震周辺に存在する活断層で大きな地震が発生した場合に予想される震度分布図



＊様々なケースが想定されるうちの一例を示したものであり、これよりも大きな震度になる場合があります。

活断層の位置、想定される規模、今後30年以内の地震発生確率、予想される震度分布図は、地震調査研究推進本部による。
「都道府県ごとの地震活動」 https://www.jishin.go.jp/regional_seismicity/
「塩沢断層帯・平山－松田北断層帯・国府津－松田断層帯（神縄・国府津－松田断層帯）」の詳細
https://www.jishin.go.jp/regional_seismicity/rs_katsudanso/f036_shiozawa-hirayama-kozu /

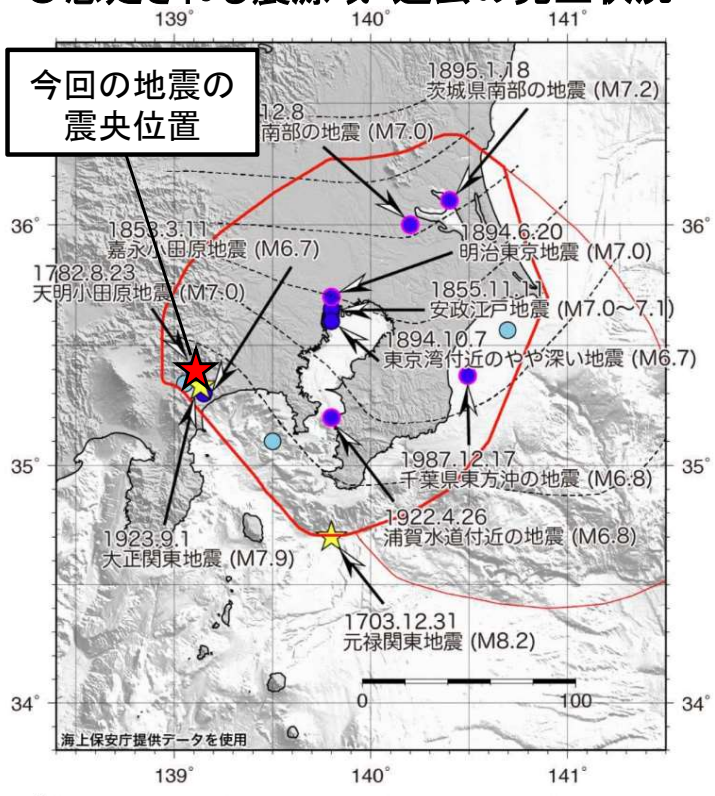
気象庁作成

相模トラフ

周辺で想定されている海溝型地震

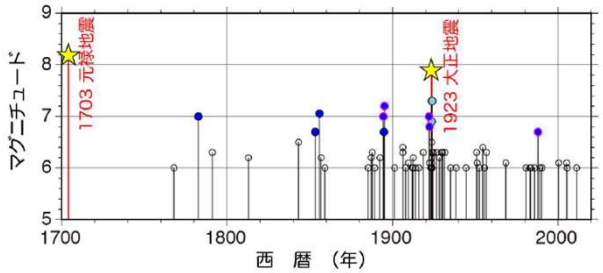
（参考資料）

●想定される震源域・過去の発生状況（注1）



赤太線：「プレートの沈み込みに伴うM7程度の地震」の評価対象領域（評価対象領域内のどこかで発生するものとして評価）

赤細線：「相模トラフ沿いのM8クラスの地震」の評価対象領域（最大クラスの想定震源域）



●：プレートの沈み込みに伴うM7程度の地震

●：大正関東地震（1923年）の余震

○：前回評価（2004年）で対象としたプレートの沈み込みに伴うM7程度の地震

☆：M8クラスのプレート境界地震

図中の色付きの丸と黄色星は、プレートの沈み込みに伴うM7程度の地震（元禄関東地震以降）とプレート境界で発生するM8クラスの地震を示しています。時系列図にはM6以上の地震を示しています。

（注1）2014年4月25日公表の「相模トラフ沿いの地震活動の長期評価（第二版）」より引用。

（注2）海溝型地震における今後30年以内の地震発生確率が26%以上を「Ⅲランク」、3%～26%未満を「Ⅱランク」、3%未満を「Ⅰランク」、不明（すぐに地震が起きることを否定できない）を「Xランク」と表記しています。ランクに「＊」を付記している場合は、地震後経過率が0.7以上を表しています。

●海溝型地震の長期評価（注1）

領域または地震名	想定される規模	ランク（注2）
次の相模トラフ沿いのM8クラスの地震	M8クラス（7.9～8.6）	Ⅱランク
プレートの沈み込みに伴うM7程度の地震	M7程度（6.7～7.3）	Ⅲランク

●周辺で想定されている海溝型地震

○今回の地震の震源周辺では、相模トラフ沿いで発生する大規模地震が想定されています。

●海域で発生した規模の大きな地震後に見られた地震活動の例

○過去には、2008年の茨城県沖の地震のように、大きな地震の発生後、より大きな地震が発生し、当初の活動域が広がった例もあります。しかし、2004年の釧路沖の地震のように、より大きな地震は発生せず、地震活動域が広がらなかった例もあります。

●相模トラフ沿いで発生する大規模地震（注1）

○相模トラフ沿いでは過去繰り返し大規模な地震が発生しています。M8クラスの地震は、永仁関東地震（1293年）、元禄関東地震（1703年）、大正関東地震（1923年）が知られています。これらの地震の発生時期より、平均発生間隔は約320年と推定されます。また、M7程度の地震として、嘉永小田原地震（1853年）や、安政江戸地震（1855年）、明治東京地震（1894年）等が知られています。元禄関東地震（1703年）と大正関東地震（1923年）の間の220年間でみると、平均して27.5年に1回の頻度でM7程度の地震が発生しています。

※本資料は以下を基に作成しました。

「活断層及び海溝型地震の長期評価結果一覧」（地震調査研究推進本部） https://www.jishin.go.jp/main/choukihyoka/ichiran.pdf

「相模トラフ沿いの地震活動の長期評価（第二版）」（地震調査研究推進本部） https://www.jishin.go.jp/main/chousa/kaikou_pdf/sagami_2.pdf

気象庁作成

発表した情報などについて

- 津波警報等の発表状況
  https://www.jma.go.jp/bosai/map.html#contents=tsunami
- 津波の観測状況
  https://www.jma.go.jp/bosai/map.html#elem=info&contents=tsunami
- 潮位観測情報
  https://www.jma.go.jp/bosai/map.html#contents=tidelevel
- 地震情報
  https://www.jma.go.jp/bosai/map.html#contents=earthquake_map
- 推計震度分布図
  https://www.jma.go.jp/bosai/map.html#contents=estimated_intensity_map
- 長周期地震動に関する観測情報
  https://www.jma.go.jp/bosai/map.html#contents=ltpgm
- 緊急地震速報の発表状況
  https://www.data.jma.go.jp/eew/data/nc/pub_hist/index.html
- 発震機構解
  https://www.data.jma.go.jp/eew/data/mech/top.html
- 震央分布
  https://www.jma.go.jp/bosai/map.html#contents=hypo

- 地震から身を守るために
  https://www.data.jma.go.jp/eqev/data/jishin_bosai/index.html
- 津波から身を守るために
  https://www.data.jma.go.jp/eqev/data/tsunami_bosai/index.html
- 気象庁防災情報X（旧Twitter）
  https://twitter.com/JMA_bousai